

令和7年第1回錦江町議会定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
池田行徳	町道の補修、改修、側溝の流末施工について	<p>1. 町道における路面のくぼみや、路線的なひび割れ、でこぼこなどの傷みが見受けられる箇所の改修についてどのように進めていくのか。</p> <p>2. 久木野線、新田重岳線の途中にある著しいへこみに対する補修については、コンクリート舗装は考えられないか。</p> <p>3. 半下石の足光谷線や東西大原線、荒西山に向かう新田線は、傷みも進んでいるが、今後の改修予定はどのようなものか。また、新田の民家への入り口となる町道側溝の蓋が傷み、通行に不便をきたしている平山線の改修はどのようなものか。</p> <p>4. 神川の平下線の側溝の流末は、土工になっているが、下方の民家の安全確保上、コンクリート施工はできないか。</p>	町 長
	河川敷の活用について	<p>1. 河川敷は、県の管轄ではあるが、場所によっては憩いの場や観光地などの施設として活用する考えはないか。</p> <p>2. 壱崎自治会の河川敷を地域のふれあいの場として、また、バードウォッチングなどの観光地として活用できないか。</p> <p>3. 大原自治会の立神の河川敷では、以前、県の事業で地域住民の憩いの場として、ベンチや藤棚が設置されていたが、現在ではうまく活用されていない。再度整備して、バードウォッチングなどにも活用できないか。</p>	町 長
川越裕子	小学校跡地の活用について	<p>統合後の小学校の跡地利用については、小学校再編統合推進委員会で検討協議されたはずであるが、これまでの経緯と今後の取り組みについて伺いたい。</p>	教 育 長
	生涯学習講座について	<p>子供向け講座を令和7年度より設けるとの所信表明を伺っている。今後、アンケート等を通し検討されると思うが、教育長の構想について伺いたい。</p>	教 育 長
久本晃	労働環境について	<p>生活を維持する為には収入を得る必要がある。近年では働き方にも変化があり、テレワークや多拠点、複業など様々なものがあるが、錦江町ではその手段がかなり限られているように感じる。働ける世代の減少は今後の町の存続に大きく影響する問題である。</p> <p>学生や移住者が錦江町で生活を続けたいと感じてもらうためには手段や間口を増やすための支援や取り組みが必要だと思うがどうか。</p>	町 長

	居住情報の管理・提供について	<p>以前の一般質問で生活困窮者や災害被災者の支援の為に空家活用を提案した。生活するためには拠点や住居が必要である。空家バンクを通して取組んでいるが、様々な問題があり利用が限定されていると感じる。</p> <p>空家バンクの登録情報の緩和、もしくは空家バンクとは別の情報管理・提供を行う考えはないか。</p>	町	長
浪瀬亮佑	あいのりタクシー利用助成について	<p>1. 現在、あいのりタクシーの利用交付を受けておられる方は327人で、そのうち、マイナンバーカードを活用された方が128人(48枚×128=6,144回分)、紙で交付を受けられた方が199人(36枚×199人=7,164回分)で、合わせると13,308回分の交付となりますが、その利用率は19.3%(約2570回分)と低く、また、2人以上のあいのり利用は、約0.7%の利用率である。</p> <p>近距離では、買い物等に利用されているが、本人負担が多い為か、遠距離での使用は非常に少ない。現在1回の利用に2枚までであるが、距離に応じて利用枚数を増やすことはできないか。</p> <p>2. 今後、本来の目的であるあいのりタクシーの利用率を上げる対応策はどう考えるか。</p>	町	長
落司道子	町職員の人材確保について	<p>12月議会、一般質問の際、職員数の現状について、「欠員が生じている課がある。また、諸事情で職員が常駐できない状況も散見されることから、定員適正化計画を見直し、若干の定数増をしていきたい」とのことであった。</p> <p>1. 新年度が始まるにあたり、人員を確保できているのか。</p> <p>2. 今後、人材確保・定着を図るために、どのように取り組んでいくのか。</p>	町	長
久保勇太	ローカルベンチャー事業に関して	<p>1. これまでのローカルベンチャー事業の実績を示されたい。特に、業務委託費や協議会負担金の内訳並びに事業効果について詳細な説明を求める。</p> <p>2. 今年度は3名の応募があり、2名が採用されたと伺ったが、誰がどのような判断を下しているのか、具体的な採用プロセスを示されたい。</p> <p>3. 本事業が効果的に機能していれば、地域の人材確保や事業継承に結びついて地域の活性化に繋がるはずであるが、そのような結果になっているのか。令和7年度も7,980万円もの巨額予算が組まれており、令和5年度から足掛け3か年で約2億円もの税金が投じられることになるが、それに見合う成果が期待できるのか。費用対効果の観点か</p>	町	長

		ら明確な説明を求める。	
病院再整備事業 に関して	<p>1. 再入札へ至る経緯並びに契約条件を示されたい。</p> <p>2. 予備費 5 億 2 千万円の残高は 0 となったが、着工の 12 か月後に工事費が上昇した場合、どのように対応するのか。また、情報システム整備費約 4 億 2 千万円はそのほとんどが建築工事費に流用され、情報システムはリースでの導入になったとの説明を受けた。リースで導入できるのであれば、なぜ最初からリース導入を検討しないのか。なぜ、少しでも事業費を抑えようと努力をしないのか。医師会は、巨額の血税が投じられている事業であると理解しているのか、見解を問う。</p> <p>3. 情報通信、電設工事等は建築工事と分離して令和 8 年度での契約とするとのことであるが、建築工事総額は既に 60 億円を超えている。12 か月後にさらに工事金額が上昇した場合、医療機器整備費などから流用せざるを得ないのではないか。それで本事業の当初目的は達成できたと言えるのか。本事業は誰のため、何のための事業なのか、今一度見解を問う。</p>	町 長	
子育て事業に関して	<p>1. 子育て支援住宅整備事業が開始されるが、どのようにして子育て世代を呼び込むのか。サテライトオフィス事業、MIRAI サポート協同組合、ローカルベンチャー事業、ワーケーション事業、保育園留学、山村留学事業等、多岐にわたる交流人口・定住人口増加に向けた取り組みを進めてきているが、どの程度の子育て世代が定住したのか、また、今後見込まれるのか。</p> <p>2. 住宅整備と併せて、入居者の就業支援も非常に重要となってくる。既存の事業とどのように連携していく考えなのか。</p> <p>3. 今後、子育て世代に選ばれる町になるために、本町に必要な取り組みは何だと考えるか。</p>	町 長	